# 「つや姫」マイスター通信第３号

平成２６年度

## ～マイスター紹介と地域の取組紹介～

２０１４．９．１８

## ■【島根の「つや姫」マイスター紹介】

☆田中裕司さん
（ＪＡくにびき管内）

ＪＡくにびき管内の「つや姫」作付面積は本格栽培３年目を迎え、集落営農法人等での普及も進み、１５０ｈａと順調に増えています。

田中さんは農事組合法人「意宇（おう）の杜（もり）（平成25年３月設立）」の代表として組織運営、地域農業の振興等に尽力されています。

本年は水稲１５ｈａ（うち「つや姫」３．４ｈａ）を栽培し、８月の天候不良によって生育は遅くなりましたが、９月８日から収穫が始まりました。

７月に開催された山形県での全国「つや姫」サミットにも参加され、現地視察では、食味と品質向上のため、地域の気象や土壌条件を踏まえた栽培管理が徹底されており、特に山形県は以下の事項に力を入れているとの感想を持たれました。

・タンパク含量の低減の徹底
・１株当たりの茎数を抑える水管理
・食味重視、商品として品質が安定していてブレが少ない
・首都圏でのＰＲ

山形県の取組みを島根でも展開して欲しいとの思いを持っておられます。

☆福島　聡さん
（ＪＡいずも管内）

出雲ドーム周辺を中心に稲作を展開されています。今年の水稲作付面積は５ha で、「つや姫」は１．５ha 栽培されています。

本格栽培が始まった平成２４年から栽培を始められ、今年で３年目になります。

この間、安定栽培技術の確立に向けた県の実証ほを継続して担当され、品質向上に御協力いただいています。

今年は８月の長雨・日照不足の影響で成熟期が遅れ、９月５日から収穫が始まりました。『安全・安心のおいしい「つや姫」を消費者に早く届けたい』とはりきっていらっしゃいます。

## ■【各地域トピックス】

今回は、ＪＡくにびき管内の良質米生産への取組みを紹介します。

ＪＡくにびき管内では４名の「つや姫」マイスターを中心に、安定生産・品質向上を目指しています。本年はマイスター実践ほ場に加え、肥効タイプが異なる肥料の試験ほ場を設置し、より「つや姫」に適した肥料を探っています。

７月にはマイスター実践ほ場で現地指導会を開催し、延べ７０名の生産者が参加され、栽培技術の普及が進みつつあります。

山形県の「つや姫」サミットにはマイスター２名が参加し、先進的な取組みに触れ、今後の「つや姫」生産に向けて意を新たにされたところです。

☆「島根県ホームページでの情報提供」

「つや姫マイスター通信」と「つや姫栽培管理情報」を島根県ホームページでも掲載しています。

◆ホームページアドレス

http://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/seisan/shinkou/komesinhinsyu.html

□ お問い合わせ

全農島根県本部
米穀農産部米穀課
TEL：0853(73)9521

島根県農業技術センター
技術普及部農産技術普及課
TEL：0853(22)6967

島根県農畜産振興課
農産グループ
TEL：0852(22)5129